



にじの郷たにやま通信

2023年 8月発行 第31号

発行責任者／理事長 水谷 吉伸 鹿児島市中山町5028番地80 電話099-267-3977

目次

鹿児島虹の福祉会 今後の展望 …………… P1	2023年度役員・評議員体制 …………… P6
鹿児島虹の福祉会 25年の歩み …………… P2	2022年度事業及び決算報告 …………… P7
2023年度事業計画 …………… P5	事業のご案内、にじの郷マップ …… P8



25年の歴史と理念に学び、歩みを確信に、新たな一歩を

鹿児島虹の福祉会は2023年7月に法人設立25年を迎えました。

法人設立とその後の運営に携わっていただいた方々に改めて感謝いたします。

私たちを取り巻く環境は世界・国内情勢の中で様々な問題に直面しています。こうした状況であるからこそ私たちの法人理念で掲げる「人間の尊厳と基本的人権の尊重」を深め輝かせていくことが大切になっていると思います。希望や展望がもてる、そんな社会が求められています。

私たちは、介護・保育の福祉事業と地域での様々なつながりと活動を通じて歩んできました。

今後も地域に寄り添い、事業利用や諸活動の中で役割を果たし、楽しさを笑顔でつなぎ育てていきます。つながりづくりや相談活動に力を入れ、総合力と連携を大切にし、地域の人々に求められ、応えられる事業を行います。また、保育事業では未来を担う子どもの心身の豊かな発達につながる事業と活動を大切にします。

これまで地域とともに歩んできた歴史を確信に、これからも総合的なサービスを提供できる法人としての自覚と責任をもって、利用者やご家族、また、地域のかけ橋となることができるよう努力していきます。引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。

鹿児島虹の福祉会 25年の歩み

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <p>1990
平成2年</p> <p>1991
平成3年</p> <p>1994
平成6年</p> <p>1995
平成7年</p> <p>1996
平成8年</p> <p>1997
平成9年</p> <p>1998
平成10年</p> <p>1999
平成11年</p> <p>2000
平成12年</p> <p>2001
平成13年</p> | <p>2月 医療生協 臨時総代会で特養ホームづくりを掲げ「高齢者問題研究会」を設置して検討を開始</p> <p>12月 医療生協 「在宅福祉の充実を求める陳情署名」提出</p> <p>2月 医療生協 臨時総代会で、高齢者施設の開設にむけて「検討(推進)委員会」を設置し準備をすすめることを決定</p> <p>11月 高齢者づくりを推進する会第1回世話人会</p> <p>12月 高齢者づくりを推進する会結成 一万署名の取り組み</p> <p>5月 陳情署名(10500筆)を県と市に提出</p> <p>1月 「推進する会」から「すすめる会」に名称変更</p> <p>5月 1億円募金の取り組み開始</p> <p>7月7日 社会福祉法人設立認可の通知</p> <p>7月9日 社会福祉法人鹿児島虹の福祉会設立登記</p> <p>9月25日 特養ホーム起工式</p> <p>10月1日 特別養護老人ホームにじの郷たにやま(定員50名)事業開始</p> <p>11月1日 在宅介護支援センターにじの郷たにやま委託事業開始
ショートステイ(12名)・デイサービスセンターにじの郷たにやま(25名)事業開始
鹿児島市訪問給食事業・ふれあい会食事業委託開始</p> <p>3月 訪問介護員2級養成研修事業開始</p> <p>4月1日 介護保険指定事業所へ移行</p> <p>4月 陶芸教室開始</p> <p>5月 ヘルパーステーションにじの郷たにやま事業開始</p> <p>6月 習字教室開始
ふれあい会食開始</p> <p>7月 ゆうあい訪問給食開始</p> <p>10月 第1回秋まつり開催、家族会開催</p> <p>6月 デイサービスにじの郷 利用定員30名へ</p> | <p>2003
平成15年</p> <p>2004
平成16年</p> <p>2005
平成17年</p> <p>2006
平成18年</p> <p>2007
平成19年</p> <p>2009
平成21年</p> <p>2010
平成22年</p> <p>2012
平成24年</p> <p>2013
平成25年</p> <p>2015
平成27年</p> <p>2017
平成29年</p> <p>2018
平成30年</p> <p>2020
令和2年</p> <p>2023
令和5年</p> | <p>3月 デイサービスにじの郷 利用定員35名へ</p> <p>4月 デイサービスにじの郷 利用定員40名へ</p> <p>7月 鹿児島市宅配給食事業 夕食の配食開始</p> <p>3月 認知症対応型デイサービスセンターにじの郷たにやま・本町開設 定員10名</p> <p>5月 訪問入浴センターにじの郷たにやま開設</p> <p>4月 特養ホーム増床(ユニット福)20名、定員70名へ</p> <p>5月 デイサービス・本町 定員12名へ</p> <p>4月1日 にじのさと保育園開園(定員60名)</p> <p>11月 にじのさと保育園認可定員20名増、定員80名へ</p> <p>4月 にじのさと保育園認可定員10名増、定員90名へ</p> <p>11月 特養ホーム増床(ユニット幸)20名、定員90名へ</p> <p>4月1日 ケアハウスにじの郷小松原開設(定員29名)</p> <p>4月 にじのさと保育園認可定員10名増、定員100名へ</p> <p>9月 ケアハウスにじの郷小松原第1回小松原一丁目交流会開催</p> <p>1月 改正社会福祉法にもとづく定款変更</p> <p>10月1日 小規模多機能ホームにじの郷たにやま開設</p> <p>6月 法人設立20周年記念祝賀会</p> <p>2月 特養ホーム増床(ユニット和)20名、定員110名へ</p> <p>4月 訪問入浴センターにじの郷たにやま廃止</p> <p>7月 にじのさと保育園利用定員90名へ(10名減)</p> |
|---|---|---|--|

鹿児島虹の福祉会25年の事業展開と今後の展望

特別養護老人ホーム にじの郷たにやま

尊厳ある暮らしを守り続けていく「^{ついで}終の住処」をめざして



▲クリスマス会



▲餅つき大会



▲あおぞら発表会



▲花火大会



▲文化祭



▲保育園児との交流

特別養護老人ホームにじの郷たにやまは、1999年10月に開設されました。開設当初は、入所定員50名、ショートステイ12名から始まりました。その後、2006年4月にユニット型20床、2010年11月ユニット型20床、2020年2月ユニット型20床増床し現在、入所者定員110名、ショートステイ12名の規模になりました。

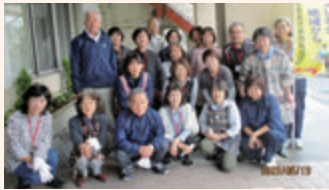
「地域の中で安心して過ごし尊厳ある終末を迎えることのできる高齢者施設をつくりたい」という思いを持った多くの方々が携わり、開設された施設です。

地域に根ざした施設への一歩として2016年に町内会へも加入しました。また、地域の方々にも職員として働いていただくようになりました。

私たちは、施設の開設にあたり多くの携わった方々の思いを大切に守り続け、利用者様にとって施設入所が特別なことではなく、これまで暮らしていた家での生活と同じように、その延長上の暮らしの場と思っていただけることをめざしていきます。

ケアハウス にじの郷小松原

自分らしく、健やかに生活を送ることをめざして



▲ボランティア(施設清掃)
宇宿地区民生児童委員会のみなさん
にご協力いただいています



▲夏祭り
果物すくいや射的など、
皆で楽しんでいます



▲ケアハウス敬老会
長寿のお祝い



ケアハウスは要介護認定を受けられている方が、できる限り住み慣れた地域で継続して生活ができることを目的に、2012年4月に地域密着型サービス事業所として開設しました。地域との共同の取り組みを進めるため、開設時より小松原1丁目町内会に加入し、町内会、民生委員会、ボランティアの方々との交流を深め、地域の行事に参加してきました。

これまで協力病院の援助を頂きながら、医療、介護連携のもとに入居者様の健康管理に重視し、自立した生活が送られるように支援を行ってきました。また、敬老会、運動会、花見など企画して入居者様の交流を進めてきました。外出レクリエーションでは季節の雰囲気を感じていただいています。



▲クリスマス会
ハンドベルの演奏

今後も、入居者様、ご家族の満足度を高め、地域から信頼される施設づくりを目指し、入居者様が安心してお過ごしいただけるよう、全力で取り組んでまいります。



▲外出レクリエーション(マリンポート) 季節を感じることができます

デイサービスセンター にじの郷たにやま

笑顔あふれる集いの場をめざして



▲谷山神社へ初詣



▲玉ねぎの収穫を行いクッキング

デイサービスセンターにじの郷たにやまは、ご自宅から通いながら介護、日常生活の機能訓練、様々なレクリエーションのサービスを行う施設として、1999年に開設しました。家に引きこもりがちにならないように社会交流の場を提供し、孤独感の解消や心身機能の維持向上に努めています。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行となり、デイサービスでは日々の活動以外にも踊りや歌などボランティアとの関わりも再開しており、利用者様の楽しみになっています。利用者様の笑顔と共に、職員も笑顔あふれる中で統一されたチームケアをするデイサービスを引き続き目指していきます。



▲にじの郷大運動会



▲ボランティア
(約3年ぶりに歌や踊りを披露いただきました)

デイサービスセンター にじの郷たにやま・本町

楽しい時間を過ごしながら、安心して通えるデイサービスをめざして



▲歩行運動
(ウォーキング)



▲紫陽花鑑賞
(最福寺)



認知症対応型デイサービスは、認知症のある利用者様が、ご自宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるように、必要な日常生活のお世話や機能訓練を行う施設で、2005年に開設しました。

新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、通常のデイサービスよりも職員配置が手厚くなっている特徴を活かし、時にはマンツーマンでドライブや公園に散歩に出かけるなど、認知症に伴う不安な気持ちに寄り添い、安心して利用して頂ける取り組みに努めてまいりました。

ご家族の負担軽減を兼ねて開始した訪問理美容は、半数以上の利用者様がご利用されるなど、とても好評で、散髪を目的にデイ・本町の利用を開始された方もいらっしゃいます。

今後は、認知症対応型デイサービスの専門性を活かし、地域からの相談にも積極的に応えていく事で、「デイ・本町は楽しいよ」と言って頂ける事業所を目指して精進してまいります。

鹿児島虹の福祉会25年の事業展開と今後の展望

小規模多機能ホーム にじの郷たにやま

住み慣れた自宅で自分らしく ～「思い」や「願い」を大切にします～



▲慈眼寺公園



▲都市農業センター



▲昼食会(七つ島物産館)



小規模多機能ホームにじの郷たにやまは、鹿児島市が指定する「小規模多機能型住宅介護」として、2017年に開設し今年の10月で6年目を迎えます。通いサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせたサービス提供を一体的にできるのが特徴です。利用者様お一人おひとりの



▲外出レクリエーション
(初詣～伊佐智佐神社)

介護度、状態、利用者様やご家族の希望、生活状況、ご家族の介護状況を考慮して通い・訪問・宿泊サービスを組み合わせさせていただきます。顔なじみになった職員が、一連のサービスを提供することで日々の些細な変化にもすぐに気付くことができ、適切に対応することで利用者様及びご家族の安心感に繋がっています。

今後も、地域密着型サービスならではの社会との関わりが持てるような支援、地域に目を向け、地域に根ざしたサービスが提供できるように努めていきたいと思ひます。



▲グラウンドゴルフ



▲マリンポート

ヘルプステーション にじの郷たにやま

安心できる自宅での生活の支えとして



▲内服薬の確認援助で
飲み忘れ防止



▲できることが維持できるように
一緒に調理

2000年に開設した訪問介護事業所は、ご自宅での排泄介助や入浴介助といった身体介護と、調理、掃除、買い物代行の生活援助のサービス提供を通し、利用者様が自立した生活を送ることができるよう支援しています。

特に介護保険制度の開始当初は保険で認められるサービスを利用者様にご理解いただくことだけでも苦勞があったそうです。利用者様にご理解いただく為、ヘルパー一人ひとりが説明できるよう制度について学習し、利用者様に満足していただく為の技術や知識向上を目的とした学習会を定期的開催してきました。ここ数年は近隣の訪問介護事業所が事業を休止するなか、当事業所でも職員確保は厳しい状況ですが、法人全体のバックアップで事業の継続ができています。

これからも、地域に求められ、ご自宅での介護サービスに役立てるよう、サービスの質の向上に取り組みながら、職員が楽しく働ける環境作りに努めてまいります。

介護支援センター にじの郷たにやま

地域の身近な相談窓口をめざして



▲週1回の定例会議
(情報交換・事例検討・学習会)

▼電話相談



住み慣れた我が家で自分らしく、心豊かな生活を送れるよう、また、人間の尊厳と基本的人権を重視した介護サービスの提供ができるようにと、1999年に開設しました。地域の相談窓口として、いつでも相談ができる事業所を目指し、内部の学習会に加え近隣の他事業所との学習会を行い、地域や町内の情報収集、利用者様の権利擁護や虐待防止の推進に努めています。また、利用者様の心身の状況や置かれている環境に応じ介護保険サービスだけではなく、地域の社会資源や保険外サービスなど総合的なサービスを提案しサービス計画書の作成を行っています。今後も誠実な対応をこころがけ、皆様に信頼され、身近で必要とされる事業所をめざしていきます。

また、地域の相談窓口の機能を果たし、地域を支える事業所としての役割を担っていきたく思ひます。

にじのさと保育園

今こそ輝け！
子どもたち



▲プール遊び



▲川遊び



にじのさと保育園は、「5つの保育目標」を掲げ、それぞれの年齢にそった保育を行うことを目指し、2007年に開設しました。昨年開設15年を迎えました。この15年間で子どもを取り巻く環境は大きく変化し、保育園の役割もより多岐にわたるようになりました。

保育園は子どもを預かるだけの場所ではなく、親も子も保育者も一緒に育ちあう場です。

人間の土台をつくる大事な乳幼児期。この貴重な時間をこれからも皆で大切に積み重ねていきたいと思ひます。



▲芋ほり（地域の方の畑）



▲みかん狩り

5つの保育目標

- 健康でたくましく、しなやかな身体を持つ子ども
- 自分の考えや思いを表し、友だちの思いも大切にする心やさしい子ども
- 友だちと仲良く遊び、共に学ぶ明るい元気な子ども
- 美しいもの、正しいものに感動できる感性豊かな子ども
- 平和を愛し、生命を大切にする子ども



▲平和の種まき

2023年度 事業計画

2023年度は、「『その人らしく気持ちよく生きる』に寄り添う。楽しさを笑顔でつなぐ」を中心テーマに、サブテーマとして「つながって、地域とくらしの安心を結ぶ」「楽しさや生きがい、こころと身体健康、くらしを支える事業で役割を果たす」「理念を深め、学び成長し、一人ひとりが輝き笑顔ある職場づくりに取り組む」の3点を掲げました。

私たちの理念で掲げる「人間の尊厳と基本的人権の尊重」を深め輝かせていくことが大切になっています。いのちや健康、くらしにかかわることがながら、希望や展望がもてる、そんな社会が求められています。介護・保育の福祉事業と地域での様々なつながりと活動を通じて、その人らしく、幸せに気持ちよく生きることに寄り添い、役割を果たします。事業利用や諸活動の中で、楽しさを笑顔でつなぎ育てていきます。

明日へのくらしが描けるよう、つながりづくりや相談活動に力を入れます。総合力と連携を大切にし、地域の人々に求められ、応えられる事業を行います。また、未来を担う子どもの心身の豊かな発達につながる事業と活動を大切にします。

職員への学びと働く上でのやり甲斐や楽しさを大切にし、一人ひとりが輝き笑顔ある職場づくりと事業運営に取り組めます。

〈事業活動展開の重点課題〉

- ①総合力と連携で福祉事業の役割を發揮し地域社会に役立ちます。在宅から通所、施設まで総合的なサービスを提供できることを伝えていきます。相次ぐ社会保障制度見直しと自己負担増の情勢の中で、誰も抱く将来への不安に対し、介護福祉の相談活動に力を入れます。「虹の福祉会まるつとケアにじ」(※連携サービスの「見える化・図式化」)を作成・活用し、「その人らしく」を支え、いのちと健康・くらしをサポートします。総合力と連携を活かす地域マネジメントに取り組めます。

- ②事業収益予算の確保と事業収支の改善で、足腰の強い経営基盤をつくります。事業利用と連携で、医療・介護の受療権・健康権を守り支えるため、また、必要な設備等の投資や職員の生活を守るため、利用者予算確保に取り組み、収益予算の確保で、事業収支と財務の改善に取り組みます。

- ③事業の継続・発展の要である人材の確保に取り組みます。職員の働きやすさ、事業の質の向上・充実にもかかわる課題であり、職場を知ってもらう活動と採用対策を積極的に推進します。職場見学や体験の受入れ、つながりづくりを工夫し取り組みます。

- ④職員の生きがい・やりがい・楽しさを大切にし、職員一人ひとりが輝き笑顔ある職場づくりに取り組みます。ともに学びあい、育ちあう職場づくり、組織づくりに取り組みます。気持ちよい挨拶や感謝の声かけのある職場風土・文化を育みます。

- ⑤ありがたい姿を語り合い「虹の福祉会のビジョン案(2030年ビジョン案)」づくりを進めます。今後の社会を展望すると共に、私たちの将来のありがたい姿を描いていきます。討議のための資料も準備し、2023年度内の確定をめざします。また、SDGs(国連提起「持続可能な開発目標」)を学び、できることから取り組みます。

1. 事業活動

①介護事業について

コロナウイルスについては国による施策が常に変化していくことが予想されますが、基本的な感染対策を継続します。法人の運営理念で掲げる「人間の尊厳と基本的人権の尊重」をより一層深めた事業運営に取り組みます。人とかかわりの中で自分の存在と生きることを楽しめる活動を大切にします。また、権利としての医療・介護の受療権・健康権が守られるよう、介護福祉

の専門家として援助します。家族との交流や面会などを工夫します。介護の質の向上に取り組み、基本的ケアの確認と実践を進めます。入居者の健康管理と口腔ケアの向上に取り組みます。挨拶、笑顔、職員自身の楽しさを大切に、各事業所の特徴と地域でのポジショニングを明確にし、地域包括ケアの中での役割を発揮します。総合力と連携で、生涯の介護度に合わせた多機能の事業サービスに対応できることを伝え、支えていきます。また、相談機能を高め、地域包括支援センター、民生委員会、町内会との連携をより深めます。現在の「こまった」の相談解決だけでなく、将来のくらしや介護福祉のライフデザインを描くお手伝いをします。

②保育事業について

保育士の確保を最重要課題として取り組み、安定的な保育園の運営と園児の受け入れを進めます。職場見学や実習受け入れ等を通じ、私たちの保育の魅力を知ってもらう活動を進めます。保育目標、方針に基づき、子どもの心身の発達に寄り添った保育に取り組み、保護者への子育て支援の役割を担います。職員間の情報の共有や伝達を工夫します。職員研修の充実を図ります。また、危機管理を高め、各種訓練を実施します。子どもの権利と尊厳を守り育む地域社会づくりに貢献します。

2、人事・管理運営、教育研修

- ①職員の採用と定着が事業の継続と今後の発展を可能にするカギとなります。採用に関する年間計画を立て、プロジェクト等も検討し、取り組みを強めます。計画に基づく進捗状況を把握し進めます。また、採用後の研修やフォローを充実させます。
- ②ともに学びあい、育ちあう職場づくり、組織づくりに取り組みます。
- ③リーダーシップ、マネジメント、コミュニケーションの研修に取り組み次代を担う管理者、職責者づくり、人づくりを推進します。
- ④気持ちよい挨拶や感謝の声かけのある職場風土・文化を育みます。よりよい介護福祉の実践と職場でのコミュニケーションには、接遇の向上が大切であり、取り組みを進めます。
- ⑤介護つた隊の受入れを積極的に行い、地域の方々の協力を得て事業と活動を進めます。

3、経営管理

- ①事業利用者数の確保と事業稼働を高め、事業収益を改善していくことがまず重要になります。利用者数、件数の予算管理、施設の入所・居室・利用の稼働を高めます。
- ②予算達成状況と経営課題を全職員で共有し取り組みます。利用者計画と実績の状況を確認し、予算達成の手立てや対応を具体化し進めます。費用管理を適切に行います。事業利用者数に照らした適正な人員配置を行い運営します。
- ③適正な事業キャッシュの確保(事業収支差額)で必要な資金を確保します。

- ④2024年度の診療報酬・介護報酬同時改定、第8次医療事業計画、第9期介護保険事業計画を見据えた事業戦略づくりを進めます。

4、法人運営

- ①ガバナンスとコンプライアンスを強化し運営します。
- ②多様な働き方も含め、労務の諸制度の改善に向け政策化していきます。国の制度見直しや社会変化に留意します。
- ③職員がお互いの活動を交流し理解し合う工夫に取り組みます。
- ④広報活動の到達点と課題を整理し、方針化し強化します。
- ⑤業務委託事業者との相互協力の中で、共に虹の福祉会の事業と運営を進めます。連携を深め、お互いの気づきや提案で、提供する食の工夫、施設整備、安全管理、円滑な業務運営に一緒に取り組みます。
- ⑥ビジョンづくりのための討議資料も準備し、機関会議や職員討議を経て2023年度中に理事会で確定を行います。
- ⑦コロナ感染症は国によって感染症法上の位置づけの変更が行われました。しかし、感染症の拡大は今後も繰り返すことが予想されます。私たちは、知見に基づく正しい情報を地域にも発信しながら基本的な感染対策をとり事業の機能を守ります。

5、地域福祉への貢献、まちづくり

- ①相談機能を高めます。また、全ての事業所で生活支援の機能を高めます。
- ②気候危機問題、エネルギー問題、SDGsの学びを深め、できることから行動します。
- ③地域組織や諸団体、事業所、店舗などと連携し、安心してくらするまちづくりに貢献します。地域や他の様々なネットワークとのつながりをつくり、共にまちづくりに取り組み、くらしの助け合いの輪を広げます。
- ④災害と感染に対するBCPを作成し、定期的にメンテナンスします。町内会や民生委員、地域の協力機関(者)との連携づくりに取り組みます。
- ⑤誰もが健康で平和にくらする社会の実現に向けて幅広い人々と連帯・連携します。権利としての社会保障を守り発展させる運動に他団体とともに取り組みます。



評議員会(2023年6月13日 2023年度第1回定時評議員会)

2023年度 役員・評議員体制

〔役員〕

役職	氏名	職業・役職名
理事長	水谷 吉伸	社会福祉法人鹿児島虹の福祉会 理事長
副理事長	木田 博文	社会福祉法人鹿児島虹の福祉会副理事長 生協往診クリニック 院長
理事	田中 喬也	社会福祉法人鹿児島虹の福祉会 法人本部長(法人事務長、園長 兼務)
理事	竹下 順造	社会福祉法人鹿児島虹の福祉会 介護部長・特養ホーム施設長
理事	小田 広行	社会福祉法人鹿児島虹の福祉会 ケアハウス施設長
理事	山口 斉	生活協同組合コープかごしまくらし支援部 部長(常勤理事)
理事	田中 安平	一般社団法人鹿児島県介護福祉士会 会長
理事	横道 郁代	鹿児島医療生活協同組合 介護部長
監事	児山 正志	元生活協同組合コープかごしま 物流部長
監事	加治屋忠一	株式会社南日本薬剤センター薬局やくし店 薬局長

〔評議員〕

氏名	職業・役職名
井之上敬子	生活協同組合コープかごしまくらしの助け合いの会
川島 敏男	株式会社南日本薬剤センター 社長
黒川 久美	社会福祉法人麦の芽福祉会 常務理事
田中かすみ	鹿児島医療生活協同組合 監事
南條 晃	熊本大学生生活協同組合 専務理事
西田 一男	中山地区民生委員会 元会長
小園 隆	生活協同組合コープかごしまくらし支援部 部長スタッフ
山門慎一郎	株式会社南日本薬剤センター薬局 薬局長・副社長
宮尾メリ子	鹿児島医療生活協同組合 元監事

任期：2021年6月15日～2025年6月定時評議員会終結時

・任期：2023年6月13日～2025年6月定時評議員会終結時
 ・2023年6月13日第1回定時評議員会にて選任。同日第2回理事会にて理事長、副理事長選定。

2022年度事業及び決算報告

- 2022年度は6月に上期人事の追加を行い、デイにじの所長交代に伴う異動、内部異動等を実施しました。新型コロナウイルス感染症への対策、事業計画に基づく職員育成への取り組み(制度教育研修会)、職員採用対策の具体化への対応などをすすめました。
- 法人全体として2021年度下期から続く経営的な厳しさは2022年度も続きました。利用者確保が引き続き大きな課題です。また、事業継続のために必要な職員確保を最重点課題として位置づけ、表彰制度の改定による功労金支給制度等の具体化等、取り組みをすすめました。11月以降、経営対策会議を毎週開催し、利用者確保の現状と課題を整理し、広報活動の強化をすすめました。引き続き、具体的な対策を継続・発展させ、全職員協力のもと職員確保と経営改善を追求することとします。
- 新型コロナウイルス感染拡大が続き多くの行事等が中止となる中、法人においても一部事業所の利用自粛依頼や、地域との交流の機会である秋まつりをはじめ、事業所単位での企画についても検討を余儀なくされました。基本方針に沿って、多くの方が集まる行事企画は中止としましたが、その他の行事等については保育園の発表会や入園進級式、運動会など感染対策を徹底した上で規模を縮小して開催するなど工夫を凝らして対応をすすめました。また、1月には特養ホームの入居者様の感染が初めて確認され、職員をはじめ、関連法人の協力もいただきながら対応することができました。
- 介護事業では、職員体制の安定を目指して採用活動をすすめました。年々職員確保が困難になる中、2022年度からは資格取得養成校以外の高等学校への訪問も実施し、無資格者の採用をすすめ、2023年度の新卒採用として3名を採用し、内、1名が無資格者の採用を行うことができました。介護サービスの質の向上においては、介護過程の展開を位置づけ、ケア計画に基づき他職種との連携を図りながらすすめます。地域との交流においては感染拡大に伴う中止等はありませんでしたが、地域密着型事業所の運営推進会議は開催しており、会議内でいただいた貴重なご意見等について機関会議にて情報の共有を行いました。町内会の夏まつりなどの行事は中止となっておりますが、奉仕作業やまち美化活動、防犯パトロールへの参加、地域住民の介護アルバイト(介護つた隊)の受け入れをすすめ、地域との交流を行いました。
- 保育事業では、職員採用が非常に厳しい状況が続いており、鹿児島市と園児受入れの為に職員体制の現状報告と職員確保等の取り組みについて情報交換を行いました。職員確保の取り組みとして、退職者への保育サポーター(アルバイト)としての協力を依頼し、退職後であっても保育園との繋がりに協力を頂いています。また、新卒採用として1名を採用することができました。感染拡大による様々な制限がある中でも、保育活動が委縮して子どもの活動が制限されすぎないように感染対策を継続しながら工夫した活動をすすめました。保護者との関係づくりについては、規模縮小ではありましたが入園式で今年度の保育計画をお伝えし、6月と11月には懇談会を開催し、園での子どもたちの様子を伝え、情報の共有と関係づくりに努めました。一人ひとりの子どもの発達を見極め、気になるところは保護者にお伝えし、必要に応じて関係機関への相談につなげるなど、子どもにとって今必要なことを保護者と一緒に考えることができるように努めました。

2022年度決算概要

貸借対照表(2023年3月31日現在)

(単位:千円)

科目		科目	
流動資産	538,920	流動負債	110,265
現金預金	399,403	事業未払金	25,694
事業未収金	135,617	1年以内返済借入金	55,048
その他	3,900	その他	29,523
固定資産	1,852,475	固定負債	291,911
基本財産	1,705,444	設備資金借入金	264,623
建物・建物付属設備	937,953	リース債務	0
土地	767,490	退職給付引当金	22,338
その他の固定資産	147,031	長期預り金	4,950
		負債合計	402,177
		次期繰越	1,108,637
		(うち当期活動収支差額)	62,408
		純資産	1,989,218
資産合計	2,391,395	負債及び純資産の合計	2,391,395

2022年度事業収支決算(2022年4月から2023年3月) (単位:千円)

	予算	実績	予算比
介護保険事業収益	898,273	849,511	94.6%
保育事業収益	80,298	81,767	101.8%
障害福祉サービス等収益	0	0	
ケアハウス収益	46,234	45,559	98.5%
その他事業収入	0	0	
経常経費寄附金収益	240	100	41.7%
サービス活動収益計	1,025,046	976,937	95.3%
人件費	692,222	618,013	89.3%
事業費	139,203	140,508	100.9%
事務費	126,781	120,219	94.8%
利用者負担軽減額	3,285	1,479	45.0%
減価償却費	69,827	70,076	100.4%
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 25,339	△ 25,339	100.0%
サービス活動費用計	1,005,981	924,957	91.9%
サービス活動増減差額	19,065	51,979	272.6%
サービス活動外増減差額	11,474	10,428	90.9%
経常増減差額	30,540	62,408	204.3%
予備費	10,300	0	
会計基準当期増減差額	20,240	62,408	308.3%
次期繰越増減額	1,066,469	1,108,637	104.0%
当期活動増減差額(国庫補助金関係除く)	△ 5,099	37,068	-727.0%

※2023年5月23日:第1回理事会、2023年6月13日:第1回定時評議員会にて承認

2023年度予算概要

2023年度事業収支予算(2023年4月から2024年3月) (単位:千円)

	予算	前年実績比
介護保険事業収益	895,213	105.4%
保育事業収益	75,578	92.4%
障害福祉サービス等収益	0	0.0%
ケアハウス収益	46,502	102.1%
経常経費寄附金収益	240	240.0%
サービス活動収益計	1,017,534	104.2%
人件費	691,508	111.9%
事業費	143,116	101.9%
事務費	122,890	102.2%
利用者負担軽減額	2,874	194.3%
減価償却費	69,257	98.8%
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 25,116	99.1%
サービス活動費用計	1,004,530	108.6%
サービス活動増減差額	13,004	25.0%
サービス活動外増減差額	12,412	119.0%
経常増減差額	25,416	40.7%
予備費	10,300	—
会計基準当期増減差額	15,116	24.2%
国庫補助金関係除く増減差額	△ 10,000	-27.0%

※2023年3月22日:第6回理事会にて承認

社会福祉法人鹿児島虹の福祉会 まるっとケアにじ

- ★ 住み慣れたご自宅や地域環境の中で、「その人らしく」を支え、つながりづくりや相談活動にも力を入れ、いのちと健康・くらしを笑顔でサポートします。
- ★ 在宅から通所、施設まで、多様なサービスと連携で地域の要望に応えられる事業を行います。また、未来を担う子ども達の心身の豊かな発達につながる事業と活動を大切にします。

在宅から通所、施設まで多機能なサービスと連携で、「その人らしく」まるっとささえます
総合力と連携で、笑顔で応えます



地域福祉ネットワークの拠点として地域に貢献します

- | 世代間交流 | 担い手の育成 | 地域との連携 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■ 保育園との併設で高齢者と園児の交流を推進 ■ 保育園での異年齢児交流(保育園卒園児等との交流) | <ul style="list-style-type: none"> ■ 中学生の職場体験や専門校の実習生、ボランティアを積極的に受け入れ、将来の福祉の担い手育成を推進するなど、福祉の仕事の魅力を発信 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 町内会や民生委員の方々との連携(地域の抱えている課題等の情報共有) ■ 運営推進会議等による地域の代表者との情報共有や事業所への評価・改善 ■ 地域の方々(介護つたい隊など)の協力をいただきながらの施設運営 ■ 地域の防犯パトロールやまち美化、防犯活動への参加 ■ 子育て支援や近隣小学校との連携(進級時の情報共有等) ■ 訪問給食での安心した食事の提供と安全確認等(生活支援)、ふれあい会食での介護予防の支援 |

にじの郷で一緒に働きませんか!

- 一緒に働いていただける職員を募集しています。
- 見学も随時受け付けています。
- 介護・保育の現場で働きたい方は是非ご連絡ください。また、お知り合いで働きたい方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

社会福祉法人 鹿児島虹の福祉会

- 特別養護老人ホームにじの郷たにやま (ショートステイ併設)
- デイサービスセンターにじの郷たにやま
- ヘルパーステーションにじの郷たにやま
- 介護支援センターにじの郷たにやま
- 本部
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地80
TEL.099-267-3977 FAX.099-267-3180
- ケアハウスにじの郷小松原
〒891-0114 鹿児島市小松原1丁目15-19
TEL.099-210-5130 FAX.099-210-5223
- デイサービスセンターにじの郷たにやま・本町
〒891-0141 鹿児島市谷山中央3丁目4582番地 谷山中央ビル2階
TEL.099-263-5066 FAX.099-263-5068
- 小規模多機能ホームにじの郷たにやま
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地78
TEL.099-813-8140 FAX.099-813-8141
- にじのさと保育園
〒891-0105 鹿児島市中山町5028番地87
TEL.099-263-1202 FAX.099-263-1208

